

令和7年度 第57回 解釈学会全国大会 要項

期 日 令和7年8月23日(土)・24日(日)
主 催 解釈学会
後 援 文部科学省・大阪府教育委員会・
東大阪市教育委員会
会 場 大阪商業大学
〒577-8505
大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10



文部科学省

交 通 近鉄奈良線・河内小阪駅より徒歩5分。

* 近鉄河内小阪駅までの所要時間 *

なんば駅より12分、大阪・梅田駅より21分

奈良駅より33分、京都駅より50分

和歌山駅より75分

参加費 1,000円

昼食代 1,000円(お茶付) 懇親会 8,000円

第1日目 8月23日(土)

8月23日(土) 受付 9:00～9:30

※貴重品以外の荷物置き場：436教室

午前の部 9:30～12:20

●研究発表 (2会場)

☆第1会場 431教室

額田王像の位相——万葉調をめぐって——

「宋定伯」教材考 —志怪小説の物語論的分析—

故事成語「無用の用」教材考—文学教育の観点に着目して—

太宰治『斜陽』の道德革命と聖書
——マタイ伝十章二八節の解釈と蛇の表象を視座として

☆第2会場 432教室

説明的な文章における探究的な学習におけるテキストの解釈
—説明的な文章をデジタル絵本に翻作する過程に着目して—

『おにたのぼうし』を核とした探究的な読みの創造

文学作品の読解による思考力の育成～『オツベルと象』の授業実践から～

主題によって統合した古典の学習

午後の部 13:20～17:15

●研究発表 (2会場)

☆第1会場 431教室

三浦綾子のジュニア小説における主題とメッセージ
——ジュニア小説の創作意図をめぐって——

明治期女流作家における会話文の変遷

☆第2会場 432教室

UDL (学びのユニバーサルデザイン) を用いて古典に親しませる授業に関する実践的研究

児童生徒作文に見られる語彙の変化—1983 (昭和58) 年と2016 (平成28) 年の作文 (「私と教科書」) 比較をもとに—

●公開講演 432教室

会場校挨拶
講師紹介

公開講演 司馬遼太郎のこと

●総会

懇親会 ホテルアウィーナ大阪 (大阪上本町駅・徒歩約3分) 18:30～20:30

第2日目 8月24日(日)

●実地踏査 文学遺跡めぐり (資料進呈)

○宿泊の申し込みは各自でお願い致します。ご予約はお早めに。

○出張依頼状の必要な方は事務局までご連絡ください。

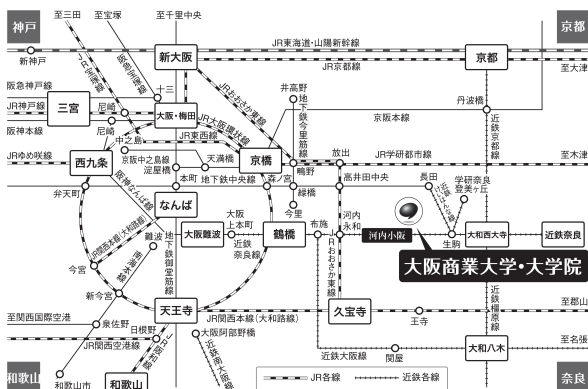
○本大会への出席は、右のQRコードから 8月12日(火)までにお申し込みください。なお、添付はがきの場合は 8月12日(火)必着でお願いします。

○本大会に関するご連絡・お問い合わせは下記へお願いいたします。

〒248-0017 神奈川県鎌倉市佐助1-18-21

銀の鈴社内 解釈学会事務局

TEL 0467-61-1930 FAX 0467-61-1931 info@kaishaku.jp



(総合司会：熊本県立大学名誉教授

半藤英明)

沖縄国際大学大学院生

平識魁里

(司会：近畿大学名誉教授

村瀬憲夫)

茨城県立牛久米進高等学校

木村政博

(司会：武蔵野大学

初谷和行)

狭山ヶ丘高等学校

樋口敦士

(司会：専修大学

山下 直)

名古屋大学大学院生

倉地智哉

(司会：元日本大学

齋藤 隆)

(総合司会：茨城大学

鈴木一史)

佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校

高木公裕

(司会：茨城大学

鈴木一史)

北海道教育大学釧路校

長屋樹廣

(司会：常葉大学

中村孝一)

成城学園中学校高等学校

青柳圭子

(司会：信州大学

大井和彦)

和歌山県立向陽高等学校

寺西 創

(司会：武蔵野大学

初谷和行)

(総合司会：熊本県立大学名誉教授

半藤英明)

日本大学

竹林一志

(司会：日本大学特任教授

井上 聡)

群馬工業高等専門学校

田貝和子

(司会：元豊田高等専門学校

伊藤一重)

(総合司会：茨城大学

鈴木一史)

北海道教育大学札幌校

菅原利晃

(司会：鹿児島女子短期大学

小沢貴雄)

群馬大学

河内昭浩

(司会：専修大学

山下 直)

14:45～16:30

(総合司会：熊本県立大学名誉教授

半藤英明)

大阪商業大学副学長

孫 飛舟

解釈学会会長

若林俊英

司馬遼太郎記念館館長 上村洋行

16:35～17:15

解 釈 学 会

日本学術会議協力学術研究団体

解釈学会の機関誌『解釈』は、昭和30年5月創刊の歴史ある国語・国文学・国語教育の専門誌です。学界への登竜門として、広く研究者、教育者の交流の場として、多くの功績を残し現在に至っております。

[会 長] 若林俊英
[副 会 長] 半藤英明
[創 設 者] 山下経一・山口正
[顧 問] 黄色瑞華・小久保崇明・
鈴木良昭・仁平道明・
柳田忠則
[歴代顧問] 秋山虔・石井庄司・井上謙・
佐伯梅友・武田元治・西尾実・
長谷川泉・久松潜一・
福田清人・福田恆存・
古田 弘・吉田精一 (五十音順)

「解釈」(かいしゃく) 研究誌。昭和30.5～。編集人山口正。教育出版センター発行。解釈学会機関誌。山下経一、山口正が国語科教材の研究を軸とした古典の研究と普及、現代の国語、文学の研究をめざし小、中、高、大学の教員を構成メンバーに解釈学会を設立。会員の自由投稿をたてまえとし、現場の声をたいせつにする傾向で一貫されている。 日本近代文学大辞典より 林 武志

解釈学会入会のしおり

○入会手続 (入会随時)

入会ご希望の方は下記の事務局までご連絡ください。

折り返し、専用の入会申込用紙をお送りいたします。

○年会費 9,000円

解釈学会(郵便振替口座00160-7-353791)宛

○会員の特典

会員のみ投稿できる機関誌『解釈』(年4回刊行)を入会年の第1号よりお届けします。

学会活動(全国大会・国際シンポジウム・実地踏査・各種研究会)に参加できます。その都度、誌上にてご案内いたします。

解釈学会事務局

〒248-0017

神奈川県鎌倉市佐助1-18-21

銀の鈴社内 解釈学会事務局

TEL 0467-61-1930

FAX 0467-61-1931

info@kaishaku.jp

申込QRコード→

